

■ 発言要旨

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
1	令和6年4月の統合時点で子どもが小1になります。 この説明会を興津地区でも実施されたかと思いますが、どのような意見が出ましたか。 興津地区で出たいくつかの意見や質問をご紹介します。 ・下校の便は2便出るのか ・統合により児童数が増えるとトラブルも増えるのではないかと心配 ・小学校は令和6年4月に統合ということになっておりますが、人口減少が今後も見込まれており、興津小と東又小が統合しても、例えば小1の時点で統合を経験して、その子が小学校を卒業するまでに窪川小との再統合はあるのではないかと ・校名について、現在の「東又小」となりますか その他ご意見やご質問があったところですが、興津小と東又小との統合に関してというところでいくつか紹介させていただきました。
2	計画が出来上がったかと思いますが、計画に関して検討する余地はありますか。 最終的にはみんなで確認をして、例えばスクールバスのことや中学校であれば制服のことなど、ひとつひとつ心配な点を確認しながら統合しましょうかということで、校舎位置は東又小ですが、例えば保護者の方から新しい学校をつくるイメージで新生小学校をつくろうというような話についても否定をするものではありません。みんなが気持ちを共有して、PTAの話し合いであるとか子ども同士の交流であるとか統合の手前から進めていく必要があるかなというところで、ひとつひとつ心配な点を確認しながら統合に向けて進めていくということです。何回か話し合いもしながら進めていくと。まずは、興津中と窪川中の統合が先です。その後小学校の統合になってきますので、話し合いを進めながらいくということです。
3	興津地域の方は統合に賛成ですか。反対意見はありませんでしたか。 先日の説明会においてはありませんでした。統合に前向きというよりは、やむを得ないという感じでした。ただ、小さい学校を残してほしいという想いもあって、高知新聞に教育長のコメントを出させていただいておりましたが、小さい学校や複式学級を否定するものではないということで、少ない教員数の中で工夫をしながらやっていただいておりますが、限界もあると考えます。 意見の中では、東又小と興津小との統合が嫌だということではなく、東又小と統合してもやがて複式学級になって人数も減ってきて、すぐに窪川小と再統合するのではないかと心配がありました。それならば当初より窪川小へ統合していた方がいいのではないかと意見もありました。しかし、計画を定めた以上は、せめて10年くらいのスパンは子どもの数が少なくなっても現状の計画で行くべきではないかと考えておるところです。
4	志和と東又は考え方が似ているところもあって馴染みやすいところがあると思いますが、興津とは悪い意味ではなくて、少し違うのかなというイメージを昔から持っていて、統合に際して溝ができるというか、変に身構えているのではないかと心配しています。 現在の東又小では志和のこんぶ祭りに出たりしますが、興津地区でもお祭りをしていると思います。そこに行った際にややこしくなるのではないかと。私は何も思っておりませんが、相手がそういう想いを持っているのではないかと不安に思います。 先日の説明会でもそうですが、そういった話は聞いておりません。極端に言えば、東又を嫌っているとかいうことは全く聞いておりません。
5	手前から交流事業をとのことですが、いつくらいからを想定されていますか。 中学校は待ったなしの状況になっておりますので、昨年度興津小を卒業した児童は窪川中へ進学し、興津中への進学者は0人です。今年度興津小を卒業予定の児童は4名おりますが、窪川中へ進学されるのかなと思ってますが、統合に向けて話をしながら、状況を見ながら、例えば中学校においても交流できる部分においては、交流を図るということも考えられます。 小学校は令和3年の推計値を見てということになりますので、そのあたりから交流を進めていく必要があるかと思えます。 令和3年ということですので、もしかしたら興津小の児童もそれまでに増加しているかもしれません。適正規模の要件を単独で満たすようであれば、東又小と統合ということにはならないですが、現状をみると厳しい状況です。令和3年までは、保護者や地域の頑張り、また行政ということも言われますが、様子を見ながら令和3年の時点で考えていくようになると思います。ただ、早い時点で求められればその時点からということになるかと思えます。統合自体が手前にということもあろうかと思えます。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
6	興津中は、仮に来年度、中3が3名でも学校をしますか。
	興津中は、そういった状態でも来年度はあるわけですので、来年度は存続です。 ただ、興津小の児童は、興津中が校区ですので、保護者と子供との判断により窪川中への進学を希望される場合もあるかと思えます。
7	交流については、社会科見学もあるし、修学旅行も合同で行くし、ある程度子どもは、興津小に〇〇君がいてね。というような話を子どもから聞きます。そういう子どもだけの交流事業を考えておられるのか、保護者も含めて交流事業を考えているのか、交流事業の想像がつきません。
	こうなさいという形ではありませんが、子どもが馴染むということが1番です。かといってPTAも一緒にするようになりますので、統合手前にそれぞれの気持ちを一緒に共有していく必要もありますので、例えばPTAの中で学校の状況であるとか、こういうことに取り組んでいるとか、興津小で今まで取り組んできていることとかいうことで、毎回毎々やりなさいとかいうことではなく、情報も知りつつ、時には一杯付きの情報交換会をするとか、気持ちの上でお互いが一緒になるんだよという気持ちを整えていくことが大事だと思います。こういったことをしたいとかいうことはPTAの中でも話していただければと思います。統合になる手前でそういった話もありましょうし、ひょっとしたら何かの行事の際に呼んでみる、行ってみる、あるいはスポーツ大会をするとか講演会に呼んでみるとか、そういったこともいいかなと思います。とにかく1つになっていくんだよという気持ちをお互いが共有していくこと、そういった形で統合できれば良いと思います。
8	交流はPTAが主体でやっていくべきなのか、ある程度教育委員会からサポートがあってするものなのか、PTAが主体でやってと言ってもうまくいかないのではないかと思います。そこらは志和小との統合のときはどうでしたでしょうか。
	昭和中和十川中の統合では、お互い交流というところについては、PTAの方でそれぞれ役員さんが話をして、こういうところを交流していこうかなというようなことでやりましたね。ただ、何を何回どういったことをしたかということについては把握しておりません。いろいろ心配する点であるとか、どちらかと言えば昭和从中から十川中へ子どもたちが行きましたので、昭和中の保護者が心配する点を保護者同士が話をしたり、情報共有をして、心配な点を解消したり、子どもたちの状況や様子を知ってもらおうとか、そういったことでいっていました。 PTAでやっていただくこともあろうかと思いますが、町にアドバイスをもらいたいということであればご相談いただければと思います。
9	費用がかかる交流事業になった場合、予算措置はありますか。
	子ども同士の交流事業については、町が予算措置をするかと思いますが、例えばPTA同士の交流についてのサポートはどうでしょうか。
9	相談をしていただく形になるのではないかと思います。どこかで交流事業をするのでバスを出してくれないかとかいうことはできるとは思いますが、思いつく点については相談をしていただくということになるかと思えます。PTAだけで勝手にやっというということではなく、相談していただければと思います。一緒に考えていけたらと思います。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
10	小学校で6学級の場合、教員数が8名ということですが、学校統合後にこうなるということでしょうか。 東又小では8名と加配教員が1名、それと養護教諭1名、事務職員1名です。特別支援学級があれば学級数に応じて教員が1名ずつ配置されます。特別支援教育支援員の配置もありますが、これは教員数にはカウントしません。
11	複式学級のデメリットはありますか。 複式学級について、子どもの数が少ないから子どもが成長しないかと言えばそうではありません。複式学級のメリットもあればデメリットもあります。学校規模が大きくなれば、社会性やコミュニケーション能力が高まるとか学び合いであるとかあります。審議会として学校訪問にも行って複式学級の授業を見てもらって学級で1年1人で2年2人とかいう学級も見せてもらって、先生も本当に工夫しながらやっておりますが、それも上手にいかないと45分授業のうち半分が自習みたいな形になってくる。子どもたちの中で学び合いをしていったらいいわけですが、1人で学び合いができるかといったらできない、2人でできるかと言えばできなくはない。ただ、深い学び、他の方の意見が聞けるかと言え、どうしても限られてくる。ただ、学力が低いかといえば高い学校もあります。年によっても違います。学力の低い子が全国学テの平均点までいけではなくて、前の年から成長していく過程を大事にしてもらいたいと思います。先生方本当に一生懸命に教えてもらっています。複式学級はマンツーマンに近い形で先生との距離は近いと思います。複式学級のメリット・デメリット全てが当てはまるかと言えそうではないです。 子どもたちに向き合う先生がしっかり1名の教員が1学級に向き合う形、教員数の配置が大事であると思います。 複式学級でも完全複式学級は、先生方大変です。小学校で学級数が3学級の場合は、教員数が4名となります。この4名には校長を含みますので、先生が出張に行く、あるいはインフルエンザや病気にかかるとなると、1ヶ月以上であれば代替え教員の配置をなんとか行いますが、1週間であるとか10日であるとかは配置はありません。校長先生は授業を行うことはできませんので、厳しい学校経営となるのではないかと考えます。 専任の教頭をしっかりと配置して、研修であるとか病気であるとかいった場合にそこにしっかりと入ることのできる体制を整えていきたいと考えます。 複式学級を解消したいという意図についてはそういうところもあります。 町内のいくつかの学校で1学年に子どもが1人のケースあります。他の学年との交流というところもありますが、同じ年の子どもの間での関わり・関りというところを大事にしていきたいと思います。小さい時から何人かの人数との関りを持ちながら思い出をたくさん作っていったらいいと思います。
12	小1のときは1学年50人の2クラス、小2のとき複式学級、小3から単式学級を経験しています。参観日を見ているだけなので、学年によってレベルも違うかとは思いますが、窪川小を否定するわけではないですが人数が多い学級では先生がみんなを当ててあげたいから意見は出るけれど、今の授業参観に行ってみるとびっくりしたのは、まず1人の意見が出ます。それに対してどう思いますか。良いと思いますとか私はこうだと思いますとか。それがすごく良いなと思っていて。小2のときどうだったかというと、先生が2学年を教えなければいけないので、教えるのに一生懸命で、発展したような、さらに深く考える、なぜなぜなぜというようなのが少ないなと思っていて、先生は非常に良くしてくださっていましたが、女の子ばっかりの学年はおとなしいので、授業参観に行ってもおとなしくやってくるから見てる時間が少ないです。複式学級の場合は、うまく自分ができないと伝えれない子、発言が弱い子は先生に困っているということを伝えるのが難しいかなと感じます。 東又小のいまの規模はいいなと思っています。
13	県外から移住してきて、東又の雰囲気はすごく好きで、統合したとしてもこの雰囲気は壊してもらいたくないなと思います。 ビオトープもあるし、学校林を使った学習や地域学校協働本部の取組の中で地域の方々が力を貸してくださったり、いろいろな学習に取り組んでいただいているところです。十和地域の保護者の方からも、東又の子ども・保護者・先生の動きはすごく良いという声があります。
14	興津の説明会では、統合については概ね賛成だったんでしょうか。 発言の有無に関わらず基本的にはどこの地域・保護者もそうだと思いますが、残してもらいたい想いはあると思います。統合に賛成というよりは、やむを得ず統合というような感じを受けました。
	興津小の児童は、窪川中に進学するようになるのであれば、小学校時より窪川小へ進学という意見もあるかと思いますが、そうすると東又小は単独で残れますか。

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
15	計画では東又小との統合ですので、窪川小へ通学を希望される方は、保護者の送迎や路線バスを利用して通学するようになるかと思いますが、校区外就学の申請が必要になるかと思いますが。教育委員会において審議されます。 令和3年度の東又小の推計児童数は、64名ということで、60名の適正規模の要件を満たしていますが、その後は60名を割り込みそうな推計となっておりますので、東又小単独での存続は難しいと思われます。そういうことを見込まれますので、興津小を受け入れちゃってもいいよという気持ちではなく、ようこそ、ウェルカムのな気持ちを持つことが重要だと思います。
16	校区の見直しはありますか。 計画では現小学校区を基本に考えておりますが、必要に応じて校区の見直しも検討します。
17	東又小では、保護者や地域が協力してやっていますが、知ってもらって、いいねと思ってもらえることが大事かなと思います。 志和も興津も地域行事を大事にしておりますので、そういったところとの連携も図っていく必要があると思います。